

いわもろ

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No. 103

岩室村の人口

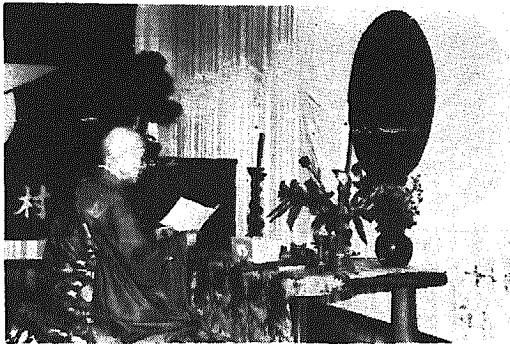
(10月1日現在)

男	4,316人	(—)
女	4,961人	(+ 2)
計	9,277人	(+ 2)
世帯数	2,023世帯	(△ 2)

(住民基本台帳による)



▲ 四季折々に、豊かな色づきを見せる、静閑荘正面の山々。今は紅葉の真最中だ。カラー写真で紹介できないのが残念。



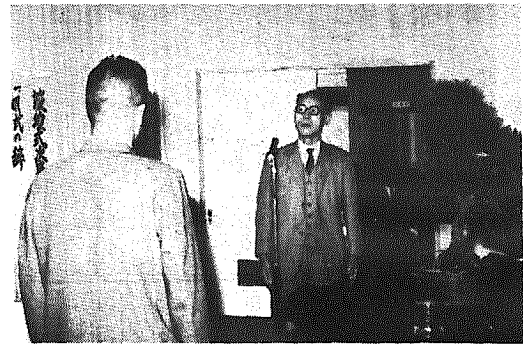
▲ 竣工式は、種月寺住職寒河江独園禅師のおはらいの読経ではじまり、参会者一同は、瞑目合掌して静閑荘の繁栄を祈った。



▲ 静閑荘をさくらの名所にしようと、参会者の手でさくらの記念植樹。150本の苗木には、それぞれ名札がつけられた。



▲ 「各方面の善意がこめられて完成したこの静閑荘がより多くの人々に利用されて、立派に目的を果すよう、広くご協力を要請する……………」竣工のあいさつをのべる横山村長。



▲ 「念願の老人いこいの家の完成は、老人福祉の大きな前進である。これに答えて、老人みずからも社会の発展につくしたい……………」力強い高島村老連会長の謝辞。

珍芸爆笑に湧いた

静閑荘の竣工式

十月三日に行なわれた、静閑荘の竣工式は、全く新しいスタイルの運営として、参会者の注目を集めていました。

県知事(代理)をはじめ、内外の来賓をご招待するのは型通りだとしても、参会者が、自分の名札をつけたさくらの苗木を、登山道の道筋や、建物の周囲に記念植樹をしたことや、式が、仏式であったことも、参会者を喜ばせました。が、なんとこの日の庄巻は、祝賀会での名士かくし芸大会でした。

村長自ら、ユーモアたっぷり村会のマイクを握り、村会議員や各字区長各団团长に、村外来賓や老人方の飛入りも交えて、次々ようなことは、岩室村はじまって以来のことでした。爆笑のうちに、時のたつとも忘れて、憩の家完成を祝う姿は、静閑荘の第一ページを飾るにふさわしく、ほほえましい情景でありました。

利用者は一日平均 二〇・五人

開所以来、日増しにふえる利用者の方々からは、好評をいただいておりますが、十月七日から十月二十日までの、正味十四日間の利用状況は、次のとおりです。

村内の老人(個人)	六十三人
村内の一般(個人)	四百十三人
村外の利用者(個人)	四十六人
村内の老人(団体)	二十三人
村外の利用者(団体)	二十一人
合計	二百八十七人
一日平均	二〇・五人

「山の紅葉がすばらしい眺めです。お客様はだんだん増えていますが、まだまだ収容能力に余裕がありませうから、おかげ下さい。」